

実践テーマ 望ましい集団活動の活性化と愛校心を育む

日立市立大みか小学校

1 はじめに

「望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方」をテーマとして活動を行った。児童が学校をよりよくするために何ができるかを考えて行動できるよう実践を行った。



2 実践事例

(1) 50周年記念集会

ア 愛校心の育成

(ア) 今年、大みか小学校は創立50周年を迎えた。各委員会の委員長と集会委員会の児童で50周年記念実行委員を組織し計画を実践した。まず、全校児童に大みか小ゆるキャラを募集した。また、50周年記念実行委員に児童企画イベントの部大みか小クイズ&スタンプラリーの計画・準備を一生懸命に行う姿が印象的だった。創立50周年を迎えて児童たちの愛校心は以前よりも育まれたと感じる。

(イ) 全校児童と教員の歩み

創立50周年記念に向けて「自分たちの学校の為に何ができるか」を児童に質問した。すると、「大みか小学校にありがとうを伝えたい。」「大きな節目であるからみんなが楽しくずっと思い出に残るような記念集会にしたい。」といった声があった。その背景には、学校という場所をずっと大切にしてきた教員の姿があるからではないかを感じる。

(ウ) 50周年記念集会を終えて

児童にとってこの記念集会は、ずっと思い出に残るものになったと感じる。何気ない日常を過ごす児童は友達と楽しく笑い合ったり、元気よく挨拶をしたりと以前よりも児童が生き生きとしている様子が見られる。この記念集会で育まれた気持ちをこれからも持ち続けてほしいと思う。

(2) 皆遊タイム(縦割り班活動)

ア 木曜日に実施(月に1回)

(ア) 1年生から6年生が各班に分かれて楽しく遊ぶ姿が大変印象的であった。また、高学年は低学年や中学年の模範となるように声掛けを行っていた。今年度は、集会委員会の児童が進行を行ったことにより計画性が身についたり周りをしっかりと見て行動したりする姿が多く見られた。



3 成果と課題

成果としては、児童たちが学校をよりよくするために何ができるかを自主的に考える姿を見ることができた。課題としては、高学年が主体的に行動することが多かったので、今後は低学年や中学年も活躍できる機会を設けていきたいと思う。